カフェ・オ・レ斑

診断基準「6個以上のカフェ・オ・レ斑」

カフェ・オ・レ斑

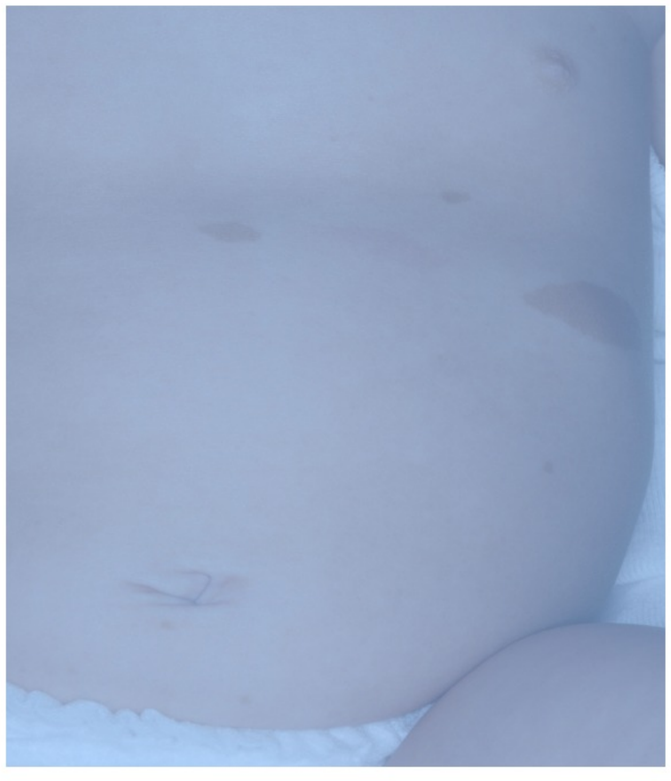
概要

合併頻度	95%
初発年齢	出生時

特徴

- メラニンが過剰に産生されてできる、均一な淡いミルクコーヒー色～濃い褐色の色素斑です。
- 小児では径0.5cm以上、成人では径1.5cm以上のものを一つの斑として判定します。
- 盛り上がりがなく、丸みを帯びた滑らかな長円形のものが多いです。
- 良性の色素斑です。
- 根本的な治療方法はありません。
- 乳児期にはカフェ・オ・レ斑以外の症状はみられないことも多いため、家族歴がなければこの時期に確定診断を行うことは困難な場合もあります。その場合は、時期をおいて再度他の症状の確認を行う必要があります。







1） Hirbe AC. et al.: Lancet Neurol 13(8): 834-843,2014

Reprinted from Lancet Neurol, 13(8), Hirbe AC et al., Neurofibromatosis type 1: a multidisciplinary approach to care, 834-43., Copyright 2014, with permission from Elsevier.